

旅行ガイドブックにみる金沢の 観光イメージの変遷

12010002 青山綾夏

はじめに

- ・観光地に関する場所イメージの研究では、テキスト分析が有効な手段の一つとされている(成瀬ほか 2007)。
- ・旅行ガイドブックなどの情報媒体は人間の訪問行動にも多大な影響を与えるものでもあり、観光者のもつ観光地のイメージを制御する存在である。

また、当該地域のごく一般的な観光イメージを示しているものと考えられ、掴みにくい場所のイメージや表現、とくにその変遷を追うという意味では有効な資料である(有馬 2015)。

既存研究

- ・有馬(2015)

旅行ガイドブック『るるぶ富士山』を研究資料とし、富士山の観光目的地としてのイメージの変遷を分析した。

2000年代に入ってから、富士山観光のイメージは富士登山に特徴付けられるようになった。

登山客層の変化(世代交代)が生じたことで、ガイドブックがつくる富士山観光のイメージは富士登山へと偏向したと考えられる。

研究目的

本研究では、旅行ガイドブックの計量テキスト分析を通して、金沢の観光地としてのイメージを明らかにする。また、観光行動の多様化や社会的背景との関連に着目し、観光イメージが変化した過程について考察することを目的とする。

対象地域

石川県金沢市とその周辺地域を金沢とする。

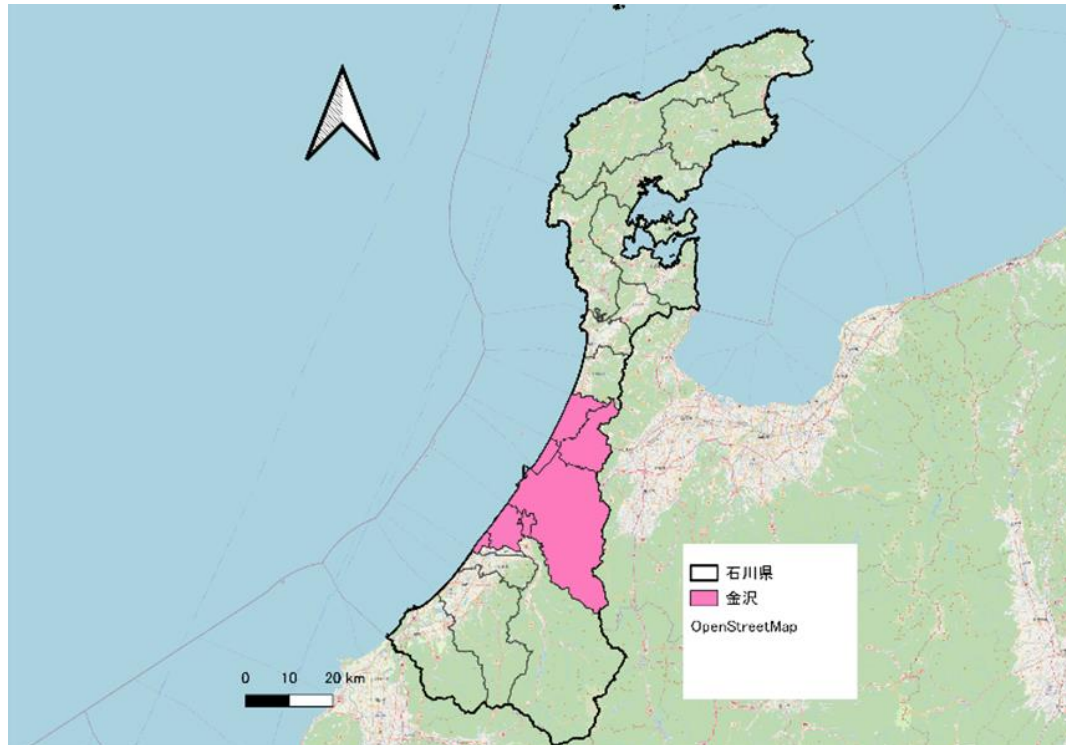


図1 研究対象地域

表1 金沢の観光に関わる主な出来事

年	主な出来事
1973	武蔵ヶ辻市街地再開発事業完成
1985	兼六園が特別名勝に指定
1986	香林坊市街地再開発事業完成
1988	北陸自動車道全線開通
1990	金沢駅高架化完成
1991	金沢駅西広場完成
1999	金沢ふらっとバス運行開始
2001	ひがし茶屋街が国の重要伝統的建造物群保存地区として選定
2003	能登空港開港
2004	金沢 21 世紀美術館開館
2005	金沢駅東広場完成
2007	能登半島地震
2008	東海北陸自動車道全線開通
2009	近江町いちば館開業 全国初の「歴史都市」に認定 世界初の「クラフト創造都市」に認定
2011	東日本大震災 鈴木大拙館開館
2015	北陸新幹線金沢開業 石川県全体の観光入り込み客数が過去最高を記録
2020	新型コロナウイルス感染拡大

研究方法

分析にはKH Coderを使用した。

各ガイドブックの見出しと本文をすべて抜き出し、頻出単語を整理した。

同様の観光要素をもった期間をまとめ、時期区分を行った。

区分された時期ごとに共起ネットワーク分析を行い、観光に関する言説及びそこから見出される観光要素を、社会的背景との関連に着目しつつ考察した。

表2 研究資料として使用した旅行ガイドブック一覧

発行年	タイトル	発行年	タイトル
1974	北陸能登	2011	るるぶ北陸ベスト'12
1984	金沢の旅	2012	るるぶ北陸ベスト'13
1987	金沢・能登・高山	2013	るるぶ北陸ベスト'14
1991	金沢・能登・北陸	2014	るるぶ北陸ベスト'15
1992	金沢・能登	2015	るるぶ北陸ベスト'16
2001	るるぶ金沢能登北陸'01~'02	2016	るるぶ北陸ベスト'17
2002	るるぶ金沢能登北陸'02~'03	2017	るるぶ北陸金沢'18
2004	るるぶ金沢能登北陸'04~'05	2018	るるぶ北陸金沢'19
2006	るるぶ北陸'07	2019	るるぶ北陸金沢'20
2007	るるぶ北陸'08	2020	るるぶ北陸金沢'21
2008	るるぶ北陸'09	2021	るるぶ北陸金沢'22
2009	るるぶ北陸金沢'10	2022	るるぶ北陸金沢'23
2010	るるぶ北陸金沢'11		

ガイドブックにみる金沢の 観光イメージの変遷

◆金沢の観光要素

- ・もっとも出現回数が多いのは「金沢」
- ・「料理」「店」「人気」→ほかの観光地でもみられる一般的な観光要素
- ・「ひがし茶屋街」「美術館」→金沢に特有の観光要素
- ・「兼六園」「金沢城」「建物」→兼六園散策や歴史的建造物の見学が特徴的な要素となっている

表3 ガイドブックに使用された単語（頻出単語）の総出現回数

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
金沢	1577	旬	174
料理	623	カフェ	172
加賀	480	海鮮	170
店	388	寿司	170
人気	355	美しい	167
兼六園	335	作品	166
使う	318	見る	164
魚介	252	庭園	164
時代	251	味わえる	164
地元	248	美術館	161
伝統	247	文化	161
味	226	高い	160
石川	221	入る	160
楽しめる	219	食べる	159
井	217	並ぶ	157
加賀藩	213	ひがし茶屋街	155
日本	211	揃う	153
前田	198	抹茶	152
老舗	194	金沢城	150
展示	192	能登	149
メニュー	186	建物	148
季節	183	種類	146
和	181	歴史	146
多い	179	江戸	143
藩主	175	金箔	142

ガイドブックにみる金沢の 観光イメージの変遷

◆時期区分

・第1期

1970年代～1990年代

・第2期

2001年～2005年

・第3期

2006年～2015年

・第4期

2016年～2022年



図2 見出しと本文に使用された各単語
とその出現回数の対応分析の結果

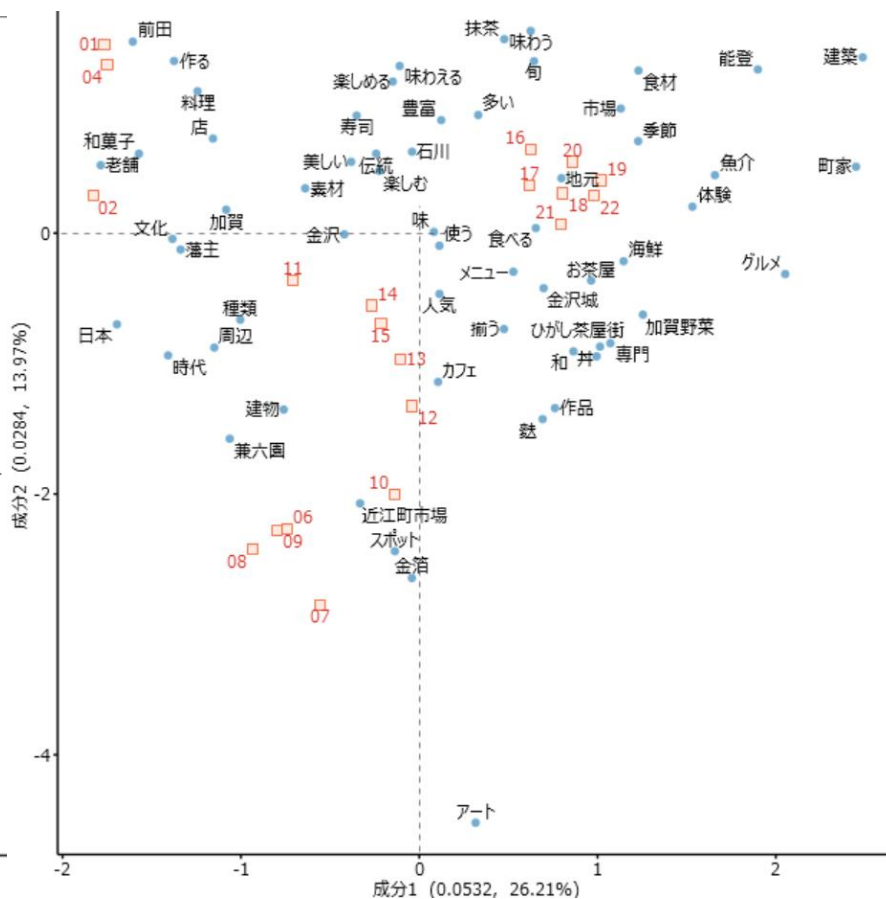


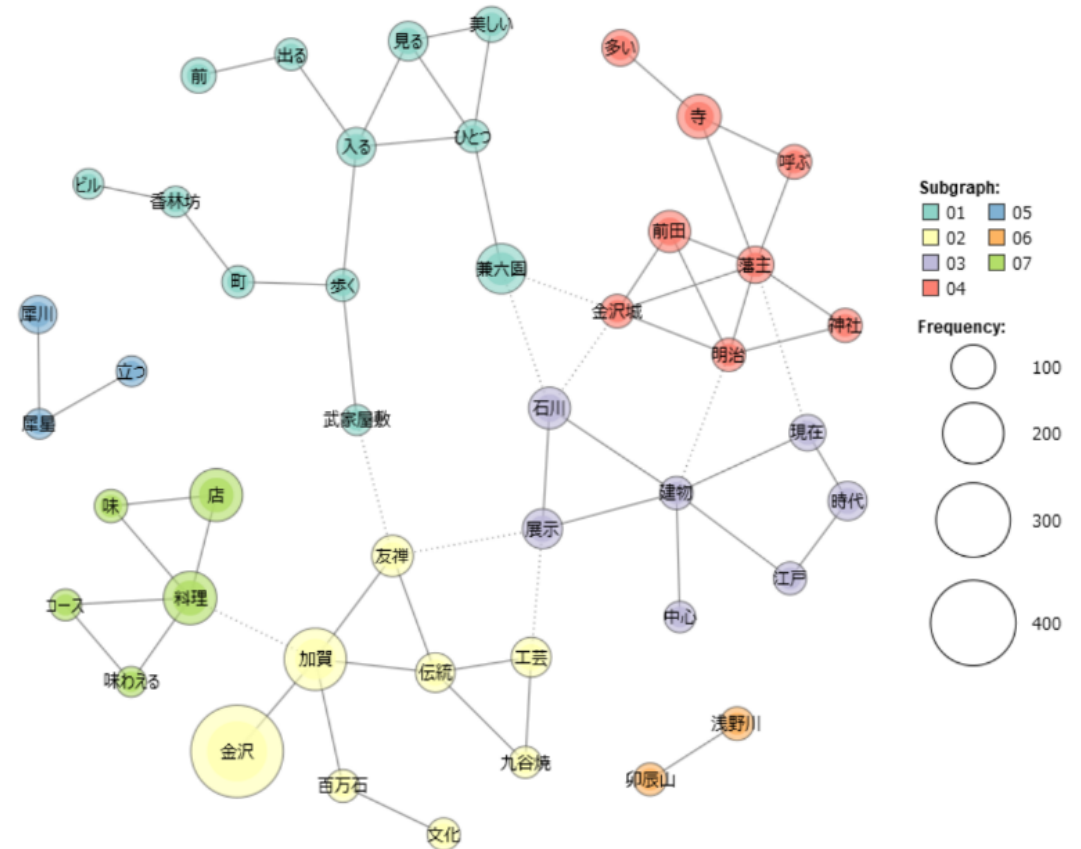
図3 見出しと本文に使用された各単語
とその出現回数の対応分析の結果
(2001年～2023年)

ガイドブックにみる金沢の 観光イメージの変遷

◆ 時期別の観光イメージ

〈第1期〉

- ・ 歴史的建造物の見学や兼六園の散策
- ・ 伝統文化にふれる



ガイドブックにみる金沢の 観光イメージの変遷

◆時期別の観光イメージ

〈第2期〉

- ・地元の素材を使用した料理を楽しむ

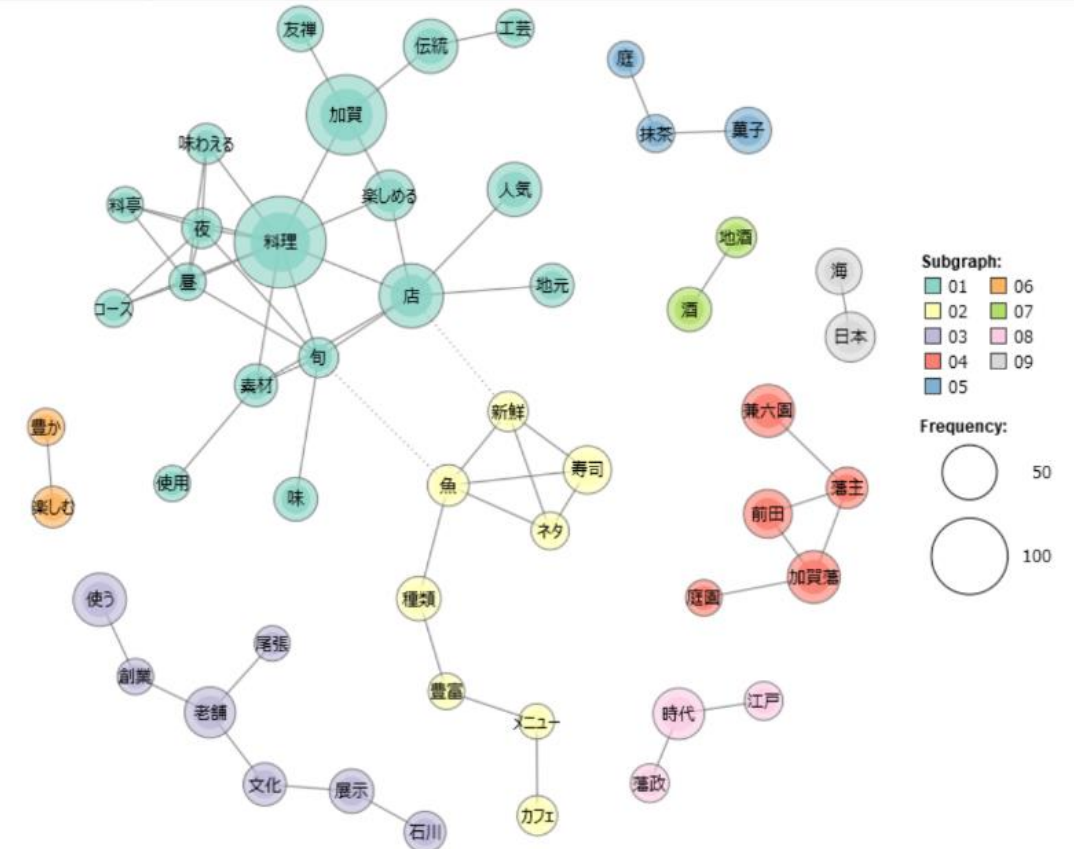


図5 第2期（2001年から2005年）のデータによる
共起ネットワーク分析

ガイドブックにみる金沢の観光イメージの変遷

◆時期別の観光イメージ

〈第3期〉

- ・金沢21世紀美術館を訪れることが金沢の観光イメージとして定着
- ・ひがし茶屋街での飲食や買いものを楽しむ
- ・地元の素材を使った料理の中でも北陸産の魚介を中心とした料理や店

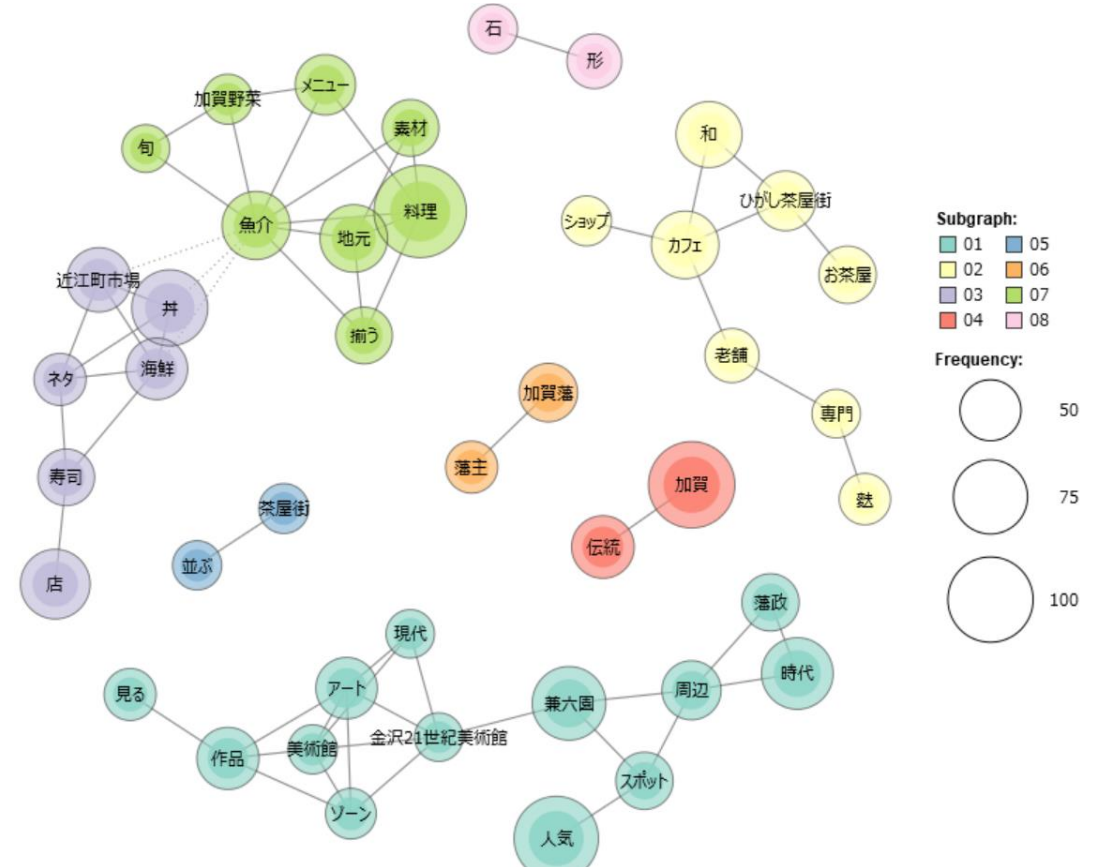


図6 第3期（2006年から2015年）のデータによる共起ネットワーク分析

ガイドブックにみる金沢の観光イメージの変遷

◆時期別の観光イメージ

〈第4期〉

- ・伝統的な文化を実際に体験する体験型観光が金沢の主要な観光形態に
- ・観光形態と観光要素が多様化

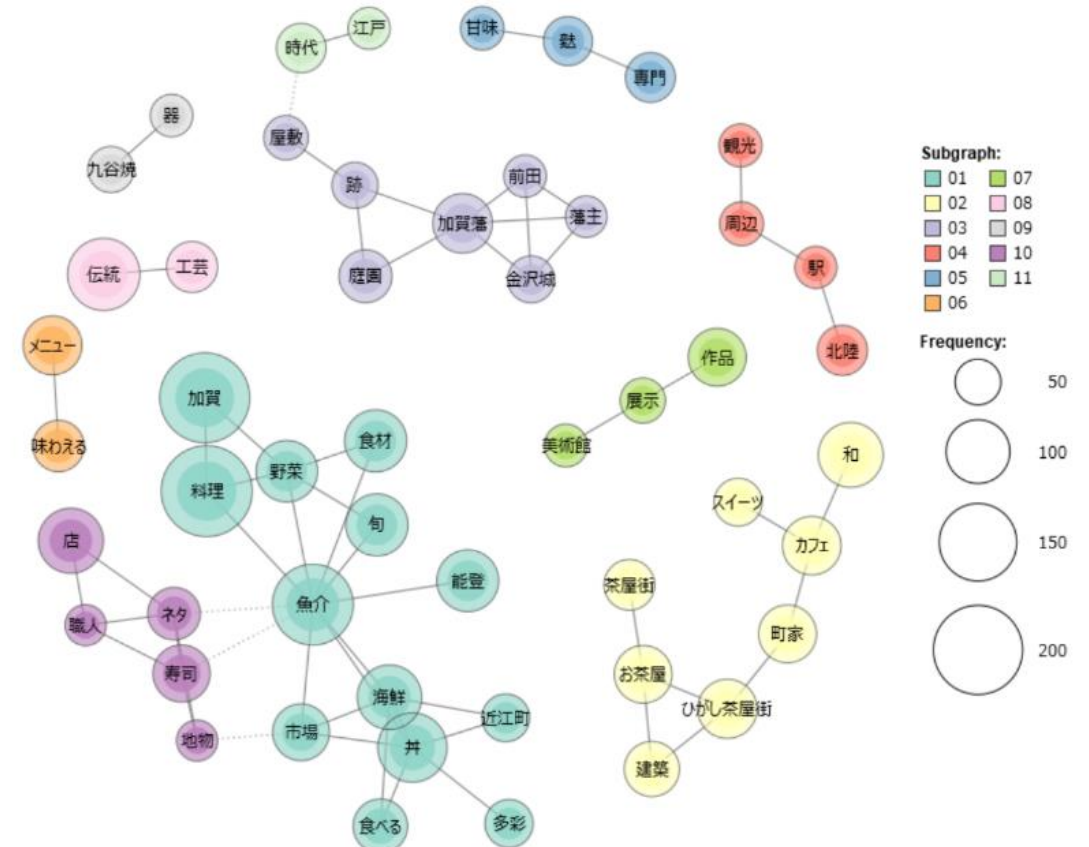


図8 第4期（2016年から2022年）のデータによる共起ネットワーク分析

金沢の観光イメージの変遷と社会的背景との関連

- ・第2期で地元の食材を使用した料理を楽しむといったイメージが創出された ←2000年代に入り「ご当地グルメ」や「B級グルメ」と呼ばれる特定の地域で開発・発祥し定着した料理が、観光資源として全国的に認識されるようになった
- ・第3期で美術館が観光資源として認識され、金沢の観光イメージとして定着していった ←2004年に金沢21世紀美術館が開館、2009年にNPO法人金沢クリエイティブツーリズム推進機構が設立

おわりに

- ・金沢観光のイメージは兼六園散策や食を楽しむ観光に特徴付けられ、そこへさらに様々な観光資源が追加され、近年では体験型観光へ移行しつつある。
- ・観光形態や観光要素が多様化しているだけでなく、それぞれの観光要素の中にも多様性が生まれている。以前から存在する観光要素に新たな価値を付加することで、観光者の観光行動も多様化している。

おわりに

- ・ガイドブックはイメージを作るものではなく、存在するイメージを反映しているもの →ガイドブックにおいて観光地の描き方が観光イメージを反映しつつどのように変化したかを捉えた分析となった
- ・時期区分の根拠となる対応分析の結果における各ガイドブックの表現要素の変化は、ガイドブックのタイトルの変更時期とほぼ一致している →ガイドブックの編集方針やターゲット層の変化などによりガイドブックに表象する金沢が変化したことを意味する

参考文献

- ・有馬貴之 2015. 旅行ガイドブックにみる富士山観光のイメージ変化 —『るるぶ富士山』の目次を対象としたテキスト分析—. 地学雑誌 124(6): 1033-1045.
- ・加藤佑都・大橋泰河・成瀬友香・阿部亮吾 2019. 金沢における観光客の観光行動とSNS. 地理学報告 121: 77-83.
- ・清瀬正太郎・十代田朗・津々見崇 2021. 奄美大島における観光イメージおよび観光活動の変遷と宿泊施設の関係. 日本建築学会計画系論文集 86(784): 1704-1714.
- ・寺田憲弘 2014. 熊野の観光メディア言説の変動 —ガイドブックと旅行雑誌における記述を対象として—. 日本観光研究学会機関誌 26(1): 9-21.
- ・中村哲 2013. 観光行動に影響をおよぼすイメージと情報. 橋本俊哉. 観光学全集 第4巻 観光行動論. 原書房 65-86.
- ・成瀬厚・杉山和明・香川雄一 2007. 日本の地理学における言語資料分析の現状と課題 —地理空間における言葉の発散と収束—. 地理学評論 80(10): 567-590.